

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	国際交流事業			会計	款	項	目	大	小
				01	02	01	01	03	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	企画政策課				
施策	3-6	国際社会への対応		主管課長	須郷 和彦				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民（市内在住・在勤の日本人及び外国人）	意図	様々な場面において、市内在住外国人と市民の交流が活性化し、よって国際相互理解が深まる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・在住外国人生活相談業務 ・外国語（英語、韓国語、中国語）通訳業務 ・国際交流活動業務 ・オランダ交流事業 			
事業開始から現在までの状況変化	流山市国際交流協会設立（平成3年）以来、同協会の協力のもと語学講座の開催、外国人向けパンフレット等を作成した。平成22年度に「国際理解サポートセンター」を江戸川台駅前庁舎に開設。平成28年7月に2020年東京オリパラにおけるオランダ国チームのホストタウンに登録される。平成30年5月1日現在の外国人住民は2,519人。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	流山市国際交流協会が主催する事業への参加者数	1458	1531	1727	人	↑↑↑
②	在住外国人生活相談件数	33	20	28	件	→→	
③	オランダ交流事業参加者数			1554	人	↑↑↑	
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	国際理解度の向上。 市民のオランダ国への理解・関心の向上			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人と外国人の市民が相互に理解を深めるため、日本語講座、外国語講座の語学講座を開催し、平成29年度は延べ1727名が受講した。 ・市内公立小学校（全16校）で6年生を対象とした「オランダ教室」を開催した。市内在住オランダ人を講師に迎え、オランダの基礎知識を学ぶ授業を開催（6～7月）した。 ・一部の市内公立小中学校の学校給食週間（1月）において「オランダ給食」を実施した。オランダの代表的料理をメニューとし、同国の食文化を学んだ。 		
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,255,588	6,748,860	8,204,069			
事業費(b)(円)		1,231,588	1,256,860	1,492,069			
うち一般財源				1,352,069			
職員給与費(c)(円)		6,024,000	5,492,000	6,712,000			
人役・職員(人)		0.80	0.80	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	オランダのホストタウンとして登録されたことから、市民が本市とオランダとの関係について、より興味関心を持つようにすること。	③取組の課題	市内在住外国人が年々増加している。在住外国人に対する適切な情報提供と行政サービスの提供。
②今年度(H29)に実施した取組	市内小学校にて「オランダ教室」、市内小中学校にて「オランダ給食」をそれぞれ実施した。	④今後(H30以降)の改善計画	上記課題解決のために庁内業務に関する外国語通訳についての派遣を新たに開始する。